

平成29年度第2回公衆浴場問題協議会議事概要

1 開催日時 平成29年7月11日（火） 10:00～11:00

2 開催場所 道庁本庁舎9階経済部1号会議室
札幌市中央区北3条西6丁目

3 出席者

- (1) 構成員・・・7名 ※欠席6名
今村氏、馬込氏、金本氏、坪田氏、奈良氏、小西氏、安達氏
- (2) 傍聴者・・・0名
- (3) 報道関係者・・・1名（北海道新聞社）

4 内容

(1) 開会等

- ア 食品衛生課長挨拶
イ 構成員出席状況報告
ウ 座長指名・・・事務局の上山を指名。

(2) 報告事項

ア 平成29年度北海道公衆浴場経営実態調査結果について

(事務局)

資料1～4について報告

(座長)

只今の報告につきまして、ご質問等ありましたら、お願いします。

(坪田委員)

資料2の6ページの燃料費の一覧について、番号1の施設の事業者は、A重油などの燃料費が0円で、廃材の費用が月782円ということですが、これだけでお湯を沸かしているのでしょうか。

(事務局)

この施設については、基本的には廃材の費用及び運搬費が0円ですが、自身で運搬することもあるため、平均すると782円となっています。また、この施設は廃材のみで燃料をまかなえているので、他の燃料費は0円となっています。

(坪田氏)

資料2の10ページになりますが、営業外収入の公的助成になりますが、21番の事業所だけが突出した金額となっていますが、何か特別な事情があったのでしょうか。

(事務局)

道や市長村などから設備整備等の助成を受けたものと確認しております。

(金本氏)

資料2の調査の概要になるのですが、選定条件の入浴料金850万円以上1,900万円未満の設定の考え方がどうされているのかなど。道南では対象施設が1施設で、実施施設が0施設ということで、ずっと0が続いていると記憶しておりますが、入浴料金の設定如何によっては、道南における対象施設がでてくるのかを教えてください。

(事務局)

入浴料金の幅については、昨年度実施の公衆浴場基本調査の結果から全体の入浴料金収入の平均値を計算し、様々な収入の上限下限を設定した時に、その設定における平均値が全体の平均値と一致するものを調べます。その中で、対象となる施設数がある程度確保できるような上限下限の金額を、条件として設定しています。道南が少ない理由については、温泉を利用しており、上水道を使用していない施設が多いため、選定条件の③に合わず、例年少ない傾向があります。

(金本氏)

では、入浴料金収入の幅を変えても、あまり影響がないことになるのですね。

(坪田氏)

各施設の入浴料金の設定はわかりませんが、温泉があると、売上はそれなりになるのですか。

(事務局)

温泉を利用している施設の収入が多いという傾向はないと思われませんが、上水道を利用せずに温泉のみを利用している施設は、温泉を汲み上げるポンプの修理代がかかるなど支出の状況も異なることから、これまでの調査との条件を揃えるためにも、選定条件の③を設定しているところです。

なお、温泉を利用している銭湯(普通浴場)についても、上限金額は440円となります。

(馬込氏)

資料2の3ページの入浴客数調について、大人の平均88.8人ということになりますが、これは7日間の調査の中で、月数をかけて算出したものでしょうか。

(事務局)

これは、7日間の合計入浴客数を7で割った、1日当たりの客数となります。

(馬込氏)

この調査ではわからないかもしれませんが、同じ人が月にどれ位利用されているとか、年齢構成とかは調査対象外でしょうか。

(事務局)

調査対象外となっております、わかりません。

(今村氏)

入浴客数についてですが、平成26年の審議会時点で92.9人、今回89.6人なので、1日平均3人減ったと解釈すると、月あたり49,866円の収入減では済まないと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

3人分だと、「3人/1日」×「440円/1人」×「26日/月」＝「34,320円/月」程度の収入減となります。

(坪田氏)

昨年より入浴客数は少し増えておりますが、何か増える要因について、営業努力とか銭湯が廃業して他のところから来るようになったなど、増えた理由について小西理事長にお伺いします。

(小西氏)

今、仰られたように、実態調査の対象となった施設の近隣に廃業した施設があって、お客さんが流れたというのが、この数字に現れているのではないかと思います。全体的にどうかというと、ほぼ横ばい状態じゃないかと経営サイドでは感じているところです。

(坪田氏)

1年間で施設は大分減っているのでしょうか。

(小西氏)

組合員の施設はここ数年で25件位ですかね、札幌市内を含め全道的に減っている傾向にあります。それは、経営者の高齢化が一番大きいかなと思っております。お客さんが減少しての廃業が目立った時期もあったのですが、最近では、原因を聞いてみると経営者も80代位となり、これ以上続けられない、体がもたないということが非常に大きいです。経営自体は続けようと思えばできるけれども、夫婦のどちらかが倒れたら、誰か他の人に頼むことにはならないというのが傾向としてあります。子どもに対して、継いで欲しいというには中途半端な収入のバランスにあるので、そのまま廃業して建物をつぶしてしまうか、そこまではやらず、何とか生活できるから、営業を続けているということです。札幌市内は、やはり、廃業する、手放していくという傾向があります。

(3) 協議事項等

ア 公衆浴場入浴料金の取扱いについて

(座長)

先ほど示しました経営実態調査結果などを踏まえまして、公衆浴場入浴料金についてのご意見を伺いたいと思います。

まず、公衆浴場の入浴料金について事務局より簡単に説明をいたします。

(事務局)

ご承知のことと思いますが、改めて公衆浴場の入浴料金の検討の手續等について、説明させていただきます。

まず、公衆浴場施行条例で定める分類の一つであります普通浴場、いわゆる銭湯につきましても、物価統制令に基づき、その上限額を都道府県知事が定めることとされており、そのため、道といたしましては、全施設を対象とした公衆浴場基本調査、一定の条件を満たす施設を対象とした公衆浴場経営実態調査の2つの調査を実施しまして、全道の各浴場における経営状況を確認しているところです。これらの結果につきましては、この公衆浴場問題協議会の場において報告させていただきまして、その結果をもとに協議していただき、入浴料金の改定が必要と考えられる場合には、条例に基づいて設置しております公衆浴場入浴料金審議会に対して、詳細な検討について諮問し、入浴料金の改定の是非や額について審議、答申していただくこととしております。

本日皆様には、先ほどお示ししました結果をもとに、審議会への諮問が必要かどうかにつきまして、ご意見を伺いたいと考えております。

なお、本日欠席された構成員に対しては、別途調査結果及びアンケートを送り、ご意見を伺うこととしております。

(座長)

公衆浴場の入浴料金につきまして、まずは、業界を代表して北海道公衆浴場業生活衛生同業組合の小西理事長にご意見を伺いたいと思います。

(小西氏)

今年も23施設の実態調査をやっていただき、貴重な資料を作ってくださいありがとうございます。我々はいただいた調査結果をもとに、毎年協議しているのですが、今年の調査結果からしますと、入浴客数が昨年より1.7人増えている、そしてその結果、調査結果の収支を見てもマイナス約8000円という数字は、今までの流れの経過から見ましても、我々業界として努力をしていけば、この部分はお客様に迷惑をかけないで、何とか吸収できる数字なのかなと、説明を聞いて感じたところでもあります。業界としましては、今年は料金を据え置いていただきましても、組合員にこの調査結果を説明し、業界で何とか頑張りながら、これを吸収していきましようと思っております。

(座長)

ありがとうございます。小西理事長からいただきましたご意見、また、先ほど示した調査結果、審議会への移行につきまして、簡単な感想でも構いませんので、皆さんに意見をいただきたいと思います。

では、今村氏から順にお願いします。

(今村氏)

以前審議会にかけるとなったとき、ある係数が一定の値を超えたときで合ったと思いますが、如何でしょうか。

(事務局)

10円を値上げする際の目安としては、今回の1日当たりの入浴客数89.6人だと、23,296円となります。過去に審議会へ移行するかの判断においては、概ね30,000円位で検討していただいていたところです。

(今村氏)

5円単位の値上げというのは可能なのでしょうか。

(小西氏)

組合員からもそういう意見はでるのですが、最近では、券売機を使うことが多くなっており、そうなると、1円単位は非常に厳しいと感じております。最近では10円単位で値上げしていたと思いますので、10円単位で値上げするとなると収支差のマイナスがある程度の額を超えないと難しいだろうと思っております。だからといって、積算でそれまでの赤字を値上げにより積み上げていけるかということ、これまでそういった形は取っておらず、単年度で考えていました。我々としては、重油価格についても大きな動きはないだろうと予想しており、今、値上げが噂されているのは電気料金だけで、他要素もあまりないのかなと思っております。

(馬込氏)

収入について、審議会基準額に比べて人数が減ったということで、約49,000円の減少の中で、費用の方は経営者の方がかなりご苦労されながら、何とかこの収支差にされていると見受けられます。燃料に関しても、廃油、廃材ですとか、その他の燃料へのシフトに努められているようですので、今回に関しては吸収いただけるということではないかなと感じております。

(金本氏)

私もですね、この実態調査の収支差の金額を見る限り、小西理事長もお話された各事業者の方の努力でカバーできる範囲なのかなということで理解いたしました。入浴客数が1.7人増えていることは、色々な理由があるにせよ、その様な状況下にありますので、この実態を見る限り、値上げするまでには至らないという印象を受けました。

(奈良氏)

はじめて参加させていただき、今日色々なお話を聞かせていただきました。入浴料金というのは、地域の方々が利用するので、あまり高いのもどうかなと思っておりました。地方だと温泉がありまして、岩内ですと、銭湯というものがなくて、温泉を利用しているのですが、現在、温泉は大体500円に入られるので、銭湯の上限金額の440円というのは温泉とほとんど変わらない金額なのかなと思っていて、今回、入浴料金のことに関してお話するというので、料金を上げるのはどうかなと思っていたところで、今、小西理事長からお話を聞かせていただき、また、実態もこういう状況ということで、上げなくてもよいのかなと感じていたところです。

(坪田氏)

理事長からもお話がありましたように、約8,000円弱のマイナスということで、昨年よりも収支が改善されているということでもありますので、引き続きご努力いただくということで、料金の改定はしなくてもよいのかなと思います。

もう一点、大変申し訳ないのですが、私も銭湯ではなくて、〇〇湯というところに月に何度か行っているのですが、週末ということもあると思いますけれど、お客さんが多く、潜在的な需要というものはかなりあるのかなという気がしております。そういうこともありますので、今後も入浴客の掘り起こしということを考えた際には、道や札幌市を含めた宣伝やPRもご努力いただきたいなと思いますので、よろしく申し上げます。

(安達氏)

地方と都市とのバランスと言いますかね、温泉は温泉でかなり安いというのは我々もわかっております。入浴料金の上限額は北海道で一つでやらなければならないという苦労もありますので、その辺はお含みおいての料金であります。

また、業界としても、ただ手をこまねいてはいけません。どうやったら将来、風呂が持続できるのかなということでは、今、若い人がどう思っているのかなということも含めながら、新しい集會など、改革したい、新しいものを見つけていきたいという方向にありますので、何とか実現して1件でも廃業しないような、長続きするような経営をし

ていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(座長)

ありがとうございました。他に意見等はありませんでしょうか。

(小西氏)

我々業界からすると、この協議会だけではなくて、普段から、このようなことをやったらどうだろうとか、ご意見を組合の方に直接でも構いませんので、いただければありがたいと思っております。また、我々としては、これまでは、営業時間だけの経営ということでありましたが、今の若い経営者からは、それ以外の時間をどのように使おうかという提案を受けることがあり、行政サイドとの相談の中で、衛生面に関することは徹底して行い、それ以外のことは色々なことを相談させていただいて、どこまでならいいのか、例えば営業前の時間は経営者サイドでどのように使っても良いのかなどを意見交換しながら、フルに施設を活用するにはどうしたらいいか考えたいと思っております。実は、銭湯はどこにあるのですかとか、銭湯とは何ですかと言われることが最近あり、我々が「銭湯は日本の文化だよ」と当たり前のように思っていたこと自体がずれているような意見がまことしやかに聞こえてくるので、これは我々の認識不足だったなと思っております。なので、銭湯でこんなことをやったらどうですかなど、出来れば色々な意見をいただきたいと思っておりますので、この会議とは別のところで構いませんので、よろしく申し上げます。

(座長)

それでは意見も出尽くしたようです。活発なご議論ありがとうございました。皆さんからいただいた意見では、公衆浴場の入浴料金の改定は不要であるということが多数となっていたところです。道では本日欠席された構成員の意見も踏まえまして、今後の入浴料金の改定の是非について検討して参りたいと思っております。検討結果につきましては、後日皆様にお知らせしたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

イ その他

(座長)

その他に、何か協議事項などありますでしょうか。

(一同)

なし。

(4) 閉会

(座長)

では、次年度の開催につきまして、事務局より連絡があります。

(事務局)

次年度につきましても、例年どおり、年2回の開催を予定しております。

後日改めて出席者などの依頼をさせていただきますので、その時はご対応をよろしく申し上げます。

(座長)

あらかじめ予定しておりました議題の協議も終了しましたので、閉会とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。